

令和 5 年 度
事業報告書

目 次

- 02 事業総括（共通事項）
- 16 障害者支援施設オイコニア
- 33 グループホーム笑和
- 36 相談支援事業所わらわ
- 39 デイサービスセンター緑林荘
- 42 居宅介護支援事業所りょくりん
- 44 デイサービスセンターさくら貝
- 48 配食サービス事業
- 49 宿舍運営事業
- 50 地域における公益的な取り組み

令和5年度 事業総括

5月に法人創立30周年を迎え、次の10年先を見据えた新たな取組みを進めつつ、事業計画の重点項目等に基づき事業を行ってきました。

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行される中、7月末に初めてオイコニアでクラスターが発生し一時的に通所や短期入所事業に影響を受けましたが前年度より事業全体では利用者数は増え、事業収入は5.5%増収となりました。また、デイサービスセンター緑林荘・さくら貝でもコロナの感染予防のための利用控えも見られましたが、重度のご利用者の支援が在宅から施設入所へ変化しつつあり前年度より利用者数が減り、緑林荘マイナス6.6%、さくら貝マイナス30.2%の減収となりました。特にさくら貝では、利用地区と高齢者も限定され利用拡大が難しく、利用定員の縮小をはじめ、業務の見直しを行いました。

喫緊の課題である人材確保については、高知UIターンサポートセンターや人材紹介会社からの紹介もあり、正職員の作業療法士、生活支援員、事務員の各1名、パート職員2名確保でき、管理栄養士以外の人員は充足できました。一方、今年度は3月末に定年退職による1名が退職しましたが、安心して働き続けられる職場環境を目指しメンター制度や介護技術向上を図る研修、処遇改善など積極的に取組んだ結果、退職者が大幅に減少し効果が現れてきました。しかしながら、オイコニアでは男性生活支援員の割合が高くなり介助場面において課題も出てきています。

物価高騰の影響が懸念されましたが、経費の一部支援として高知県社会福祉施設等物価高騰緊急対策給付金を年2回高知県の管轄事業所に支給がありました。法人単位では、前年度比、水道光熱水費マイナス8.3%、給食費1.4%増、燃料費0.8%増となり、今年度は特に水道・ガスの使用量を抑えることができ全体的なコスト削減につながりました。

6月には役員等の改選があり、外部理事1名の退任、新たに外部理事1名を含めた理事8名、監事2名が評議員会において選任されましたが、初代理事長 岡田好夫 顧問は3月に逝去しました。また、第三者委員の1名が退任したため、新たに事業所と利用者から信頼される委員を選任、年間通して各事業所を訪問する等関係性を築くための聞き取りを計画的に行いました。

社会福祉充実残額については、約1億4千万円算出され昨年度より大幅に増えたことで社会福祉充実計画の一部変更を行う必要があり、10年後の建替えのための資金として計画上の事業費を見直しすることにしました。

今年度は、主に以下の項目に取組みました。

◇昨年9月より明成会中長期計画（令和6年～10年度）の策定づくりに取組んできました。各事業所の代表者と次世代を担う職員で構成した策定委員会を毎月開催し、現状の課題を分析した上で新たな目標と具体的な取組みを検討するとともに現行の経営理念・経営方針等についても議論を行い、10月に計画案が完成し、最終理事会で承認を受けました。

また、「人材マネジメント制度」を一新するため、10月より外部講師（エイデル研究所）による人事評価制度と給与制度の見直しについて取り組みを始めました。来年度末の完成に向け2ヶ月毎に研修として取組み、これからの次世代の育成（中間管理職の育成）の一つにつながっています。また、全国身体障害者施設協議会研究大会や国際福祉機器展、コーチング研修など積極的に外部研修に参加し各種専門的なスキルアップの支援を行いました。

◇職員の業務負担の軽減、業務効率化等の視点で介護ロボットの導入やＩＣＴ化を推進してきました。全ての事業所で勤怠管理システムを導入し、勤怠情報を正確に把握し、管理の手間や作業ミスを減らすことができ、担当者の負担軽減、全体的な業務効率化を図ることができました。また、オイコニアでは高知県障害福祉施設等デジタル化支援事業費補助金を活用しマッスルスーツ（５台）を導入し、介助者の腰への負荷軽減を図り腰痛予防対策に努めました。

◇４月から権利擁護虐待防止委員会、感染症対策委員会、危機管理・防災対策委員会を各事業所が集まり法人単位で毎月開催することで３ヵ月毎に確実に実施してきました。各委員会とも法人内部の情報共有を図るとともに様式等も一体的に活用でき、それぞれのマニュアル等の定期的な見直しにもつながりました。特にご利用者への虐待・権利侵害が起こらない体制を構築するため、委員会を中心に権利擁護について理解を深めるとともに相談体制の整備に努めました。

◇収益事業である「根元原ハイツ」の宿舍運営事業の処分・売却について理事会の中で検討を重ね、宿舍運営の当初の目的である職員確保のための住宅としての役目は終えたということから、建物の売却先を探した結果、９月１日付で町内の(有)西宮組に売却することが決まりました。そのため収益事業は廃止することになりました。

◇地域における公益的な取組を推進するため、認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とした四万十町認知症カフェ事業の委託を受け、『しまんとオレンジカフェほほえむ』を６月から毎月１回、災害避難スペースで開設してきました。各事業所・多職種が関わることで地域ニーズの把握、地域との関係性の構築に努めました。また、地域サポート隊活動として、六反地駅・施設周辺の草刈り、近隣の宅老所と連携した出前講座を積極的に行いました。

◇法人設立３０周年記念事業として『創立３０周年記念誌』を５００部発行するとともに３０周年記念ロゴマークを作成し社旗や名刺、封筒等を一新しました。３月３０日（土）には、高知市の城西館において四万十町長をはじめ４４名の出席者のもと祝賀会を開催し、一つの節目として、次の４０周年に向けリレーションシップ（関係性と信頼関係）を深めることができました。

以上を令和５年度の総括とします。

1 組織体制

① 役員

理 事 8名（6名以上8名以内）

任期 令和5年6月19日から令和7年定時評議員会の終結時

監 事 2名（定数2名）

任期 令和5年6月19日から令和7年定時評議員会の終結時

② 評議員 9名（7名以上11名以内）

任期 令和3年6月17日から令和7年定時評議員会の終結時

③ 職員

事業所別 雇用形態	性別	オイコニア		笑和 わらわ	緑林荘 りょくりん	さくら貝	配食	合計
			生活支援員					
正 職 員	男	17	11		1	1		19
	女	13	7	2	8			23
契約職員	男	2	1				4	6
	女	5	5	3	2	2		12
嘱託職員	男						1	1
	女	1	1		1	1		3
合 計		38	25	5	12	4	5	64
	男	19	12		1	1	5	26
	女	19	13	5	11	3		38

※令和6年3月末現在

2 理事会・評議員会の開催

《 理 事 会 》

第1回 理事会 《令和5年6月2日（金）午後1時50分～午後3時10分》

＜理事：8名出席、監事：1名出席、顧問：欠席／議長：山本康雄理事＞

（1）報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

（2）承認及び議決事項

第1号議案 令和4年度事業報告書の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和4年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. グループホーム笑和
4. 相談支援事業所わらわ
5. デイサービスセンター緑林荘
6. デイサービスセンターさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りょくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業（宿舍運営事業）

第2号議案 令和4年度決算関係書類の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和4年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 社会福祉充実計画について

【提案理由】

経理規程第78条及び第79条の規定により社会福祉充実残額が有るため、社会福祉充実計画を作成し、評議員会の承認に向けた審議

第4号議案 次期役員（理事・監事）及び顧問について

【提案理由】

定款第15条第1項及び第16条第1項の規定により、任期満了に伴い評議員会に提案する次期理事・監事について審議。また、定款第23条第2項により、顧問について審議

第5号議案 定時評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第6号議案 職員用宿舎（根元原ハイツ）の売却について

【提案理由】

平成21年に小松建設（株）より取得した「根元原ハイツ」は、建築29年が経過し、利用状況は空室が増える傾向にあり、今後も修繕費が嵩むことが見込まれるため、建物を売却し収益事業廃止に向けた審議

第7号議案 令和5年度第1次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔グループホーム笑和拠点区分〕

第2回 理事会 《令和5年6月19日（月）午後0時00分～午後0時20分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席／議長：矢野敏裕理事＞

（1）承認及び議決事項

第1号議案 理事長・副理事長・常務理事の選定について

【提案理由】

定款第16条第2項の規定による理事長・副理事長・常務理事の選定

第3回 理事会 《令和5年8月31日（木）午前9時50分～午前11時35分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席／議長：瀧澤勝英理事＞

（1）報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

②職員用宿舎（根元原ハイツ）の売買契約の報告

③高額寄付の報告

（2）承認及び議決事項

第1号議案 法人創立30周年記念事業について

第2号議案 令和5年度第2次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

第3号議案 「デイサービスセンターさくら貝 運営規程」の改正について

【提案理由】

利用定員の変更にとともなう一部改正

(月曜日・水曜日の定員 15 名を 10 名に変更)

第4回 理事会 《令和5年12月4日(月) 午前10時00分～午前11時25分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席 / 議長：西村知絵理事＞

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

②上半期の事業報告

③須崎労働基準監督署による立入調査の結果報告(デイサービスセンター緑林荘)

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和5年度第3次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

〔職員宿舎運営事業拠点区分〕

第2号議案 諸規程の改正にとともなう審議

○就業規程

【提案理由】

夜勤職員の勤務時間見直しによる審議

○契約職員就業規則

【提案理由】

勤務時間の見直し及びパート職員の勤務時間を追加、1か月単位の変形労働時間制であることを規定に追加する審議。また特別手当(期末手当)の支給日を変更する審議

○嘱託職員就業規則

【提案理由】

勤務時間の見直し及びパート職員の勤務時間を追加、1か月単位の変形労働時間制であることを規定に追加する審議。また特別手当(期末手当)の支給日を変更する審議

○給与規程

【提案理由】

特別手当(期末手当)の支給日を変更する審議

第3号議案 第2回評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、第2回定時評議員会の日程等について審議

第5回 理事会 《令和6年3月26日（火）午前10時00分～午後00時05分》

＜理事：7名出席、監事：1名出席 / 議長：吉岡美保子理事＞

（1）報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

②来年度の組織体制

③明成会創立30周年記念祝賀会

（2）承認及び議決事項

第1号議案 令和5年度第4次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

〔職員宿舍運営事業拠点区分〕

第2号議案 中長期計画（2024年～）の承認について

【提案理由】

明成会中長期計画（2024～2028年度）策定の審議

第3号議案 令和6年度事業計画書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和5年度事業計画書の審議

第4号議案 令和6年度収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和5年度収支予算書の審議

第5号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「障害者支援施設オイコニア 運営規程」（施設障害福祉サービス、指定短期入所）

【提案理由】

制度改正にともない、全般的な見直しを行う。感染症対策や業務継続計画、虐待防止等に関する一部改正

○「デイサービスセンター緑林荘 運営規程」（通所介護、総合事業通所介護）

○「デイサービスセンターさくら貝 運営規程」（通所介護、総合事業通所介護）

【提案理由】

利用定員の変更及び感染症対策や業務継続計画、虐待防止等に関する一部改正

○「居宅介護支援事業所りょくりん 運営規程」

【提案理由】

感染症対策や業務継続計画、虐待防止等に関する一部改正。

○「就業規程」

【提案理由】

年間休日数 116 日へ見直しにともなう一部改正

○「給与規程」「契約職員就業規則」「嘱託職員就業規則」

【提案理由】

処遇改善臨時特例交付金、介護職員処遇改善支援補助金の支給にともなう一部改正

○「ご利用者所持金等の取扱に関する規程」

【提案理由】

ご利用者の預金引出し回数と引出し金額の見直しにともなう一部改正

《 評 議 員 会 》

定時評議員会 《令和5年6月19日（月）午前10時00分～午前11時50分》

評議員：8名出席（1名欠席）、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：長谷部恵美評議員

議事録署名人：戸田晶秀評議員 国元英二評議員

（１）報告事項

- 1 令和4年度 第4次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 2 令和4年度 事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 3 令和5年度 事業計画書（定款第32条第2項の規定による）
- 4 令和5年度 収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 5 令和5年度 第1次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 6 職員用宿舍（根元原ハイツ）の売却にともなう収益事業廃止に向けた経過報告

（２）承認及び議決事項

第1号議案 令和4年度 決算関係書類の承認について

【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

＜令和4年度 決算関係書類＞

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 社会福祉充実計画の承認について

【提案理由】

定款第10条第1項第8号の規定にもとづく審議

第3号議案 次期役員（理事・監事）の選任及び顧問について

【提案理由】

定款第10条第1項第1号の規定による次期理事及び監事の選任

定款第23条第2項の規定による顧問について審議

第2回評議員会 《令和5年12月25日（月）午後2時00分～午後3時10分》

評議員：9名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：田井智子評議員

議事録署名人：佐々木香代評議員

中嶋敏親評議員

報告事項

- 1 令和5年度 上半期事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 2 令和5年度 第2次・第3次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 3 令和5年度 予算執行状況（定款第33条第2項の規定による）
- 4 明成会創立30周年記念事業について

3 役職員の外部研修（出張他）

〔障害者支援施設オイコニア〕

5月10日（水）	高知県社会福祉法人経営協議会総会及び研修会（高知市／岡村） 〃、理事会（高知市／大崎） 高知県社会福祉法人経営青年会総会及び研修会（高知市／矢野）
26日（金）	高知県災害福祉支援ネットワーク会議第1回研修部会（高知市／大崎）
6月1日（木）	高知県身体障害者（児）施設協会総会（高知市／岡村、矢野）
7月18日（火）	新卒者採用学校訪問（県内外／岡村、矢野）2日間
20日（木）	全国身体障害者施設協議会研究大会（群馬県／大崎、吉岡、山脇）3日間
8月21日（月）	高知県社会福祉法人経営青年会セミナー（高知市／矢野、武政）
9月22日（金）	高知県身体障害者（児）施設協会生活部会研修会 （岡村、豊田、竹内、武政、岡本）
27日（水）	第50回国際福祉機器展&フォーラム（東京都／武政、中野）2日間 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー（黒潮町／矢野）
10月17日（火）	メンタルヘルス基礎研修（高知市／武政）2日間
20日（金）	高知県災害派遣福祉チーム（ファシリテーター）（高知市／大崎）2日間
30日（月）	中・四国身体障害者施設職員研修大会（高知市／岡村、吉岡、黒岩、下元）
11月9日（木）	中・四国身体障害者施設協議会支援職員研修会（山口県／岡村、矢野）3日間
11月10日（金）	コーチング研修（高知市／山脇）
15日（水）	高知県経営協被災地視察研修（岩手・宮城県／大崎）3日間
28日（火）	アンガーマネジメント研修（オンライン／黒岩、田邊）
12月1日（水）	高知県身体障害者（児）施設協会施設長セミナー（高知市／岡村）
11日（月）	高知県経営協災害福祉支援委員会（高知市／大崎）
13日（水）	全国身障協第11回職員スキルアップ研修会（東京／岡村・大崎）
21日（木）	高知県経営協理事会・セミナー（高知市／大崎）
1月18日（木）	四国身体障害者施設協議会高知県会員施設協議会（高知市／岡村）
23日（火）	ICT活用（高知市／豊田・武政）＜発表＞
25日（木）	仕事の任せ方研修（オンライン／中山） 四万十町人材確保・育成ネットワーク研修会 （町内又はオンライン／豊田・黒岩・中野） 合計5日間
2月8日（木）	高知県災害福祉支援ネットワーク会議（高知市／大崎）
14日（水）	中・四国身体障害者施設協議会総会・施設長研修会 （岡山市／岡村）16日まで
21日（水）	社会福祉施設総合保険制度説明会（高知市／岡村）
26日（月）	中・四国身体障害者施設協議会 事務管理研修（福山市／岡村）
27日（火）	高知県福祉・介護若手職員研修及び交流会（高知市／國見）
3月5日（月）	全国身体障害者施設協議会経営セミナー（東京／岡村・矢野）
7日（木）	福祉サービス第三者委員ブロック別研修会（須崎市／豊田）

〔グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ〕

- 9月 5日（火） 高知県発達障害児等支援スキルアップ研修（オンライン／中平）合計8日間
 12月 5日（火） 医療ケア児等コーディネーター養成研修（高知市他／中平）合計4日間
 2月26日（月） 高知県地域移行・地域定着支援関係者研修（高知市／嶋）

〔デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん〕

- 6月16日（金） 高知県介護支援専門員更新（専門）研修（高知市他／岩崎）合計8日間
 7月12日（水） 安全運転管理者講習（四万十町／西村）
 8月18日（金） サービス管理責任者等更新研修（オンライン／西村、岩崎）
 29日（火） 四国老人福祉施設関係者研究大会（高知市／岩崎、土居）2日間
 9月 2日（土） 高知県主任介護支援専門員研修（高知市／北川）合計12日間

〔デイサービスセンターさくら貝〕

- 8月29日（火） 四国老人福祉施設関係者研究大会（高知市／泥谷）2日間
 9月13日（水） 甲種防火管理新規講習（南国市／泥谷）2日間
 27日（水） 第50回国際福祉機器展&フォーラム（東京都／泥谷）2日間

4 法人共通研修

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

研修内容	開催日	対象者	内 容
新任職員研修	5月1・2日	新任職員 (5名)	明成会の経営理念、法人概要を理解し、福祉施設職員としての必要な基礎的知識・技術・技能の習得
人事評価者研修	5月3日 10月26日	第1次評価者 (13名)	人事評価制度運用の実務について評価者の定期的な学習
人権学習会 講師「高知県人権啓発センター 江渕弘明氏」	7月19日	全職員	性の多様性及び性的少数者者の現状理解を行い、福祉専門職としての役割の学習
ハラスメント研修 講師「こうち男女共同参画センターサポーター 上田 宜洋氏」	9月25日	全職員	ハラスメントについて正しく理解するとともに、職場におけるハラスメントを未然に防ぐための具体的な方法を学ぶ

法人研究発表会	2月20日	全職員	各事業所の取組み内容についてお互いに発表し合うことで内発的なモチベーションアップにつなげることができた。
人材マネジメント制度 見直し検討会 講師「エイデル研究所 和田康男氏」	10月23・24日 12月6・7日 2月13・14日	対象者 (13名)	人事評価制度、等級制度、給与制度の次期改正に向けた検討及び中間管理職を中心とした人材育成

5 各委員会活動

法人共通の委員会として各事業所から委員が集まり、各委員会を3ヶ月毎に実施するとともに、会議の内容を周知徹底した。

委員会名	開催日	内容
権利擁護・身体拘束廃止・虐待防止委員会	4月10日 7月6日 10月10日 1月10日	身体拘束の事案についての検討や差別・虐待等の防止にむけた支援マニュアルの見直し、実践的な研修や会議の実施。職員の虐待防止への意識を高めるためのチェックリストを実施し、ご利用者の権利侵害の防止と早期発見に努めるための対策について定期的に検討を行った。
感染対策委員会	5月12日 9月7日 11月8日 2月9日	施設内の具体的な感染症対策の計画を立て、指針やマニュアル等を作成・見直しを行うなど感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策について定期的に検討を行った。
危機管理・防災対策委員会	6月8日 9月7日 12月8日 3月8日	南海地震等の自然災害発生時や感染症発生時においても最低限の障害福祉サービス等が提供できるように定期的に事業継続計画（BCP）を見直し、職員の防災・危機管理能力向上のための教育、訓練を実施するため定期的に検討を行った。

広報活動

明成会で行っている事業を積極的に広報することにより、広く地域の方々に明成会を知っていただくことを基本的な目的としている。引き続き各事業所の広報誌、ホームページについては定期的な更新を行い、明成会の事業や活動内容を分かりやすく、見やすい情報発信に取り組んだ。

6 施設・設備整備等の事業

令和5年4月からの施設・設備整備事業は、次のとおりです。

＜注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載＞

〔オイコニア〕

〔備品〕

・ノートパソコン追加、SS内パソコン入替	485,870 円	＜四国電話工業(株)＞
・デイルームテレビ（75V型）	225,500 円	＜(有)オフィスウエハラ＞
・タイムレコーダー追加	267,520 円	＜陽和産業(株)＞
・防犯カメラ（6台追加）	924,000 円	＜(株)富士＞
・軽トラック	990,000 円	＜高幡自動車整備協業組合＞
・マッスルスーツ（5台）	704,000 円	＜(有)オフィスウエハラ＞

〔ソフトウェア〕

・給与システム（5年更新）	383,900 円	＜陽和産業(株)＞
・勤怠管理システム（一式）	1,700,600 円	＜陽和産業(株)＞
・会計ソフト入替（クラウド化）	2,066,680 円	＜川越税理士事務所＞

〔修繕他〕

・ボイラ保守点検委託契約	104,500 円	＜(株)巴商会＞
・座圧測定器	374,566 円	＜(有)石原産業＞
・トイレ弁取替工事	266,200 円	＜三栄工業(株)＞
・リフト浴修理（アマノ）	217,250 円	＜(株)メディプレスト＞
・特定建築物・防火設備の定期報告	264,000 円	＜小松建設(株)＞
・トイレ弁取替工事	268,400 円	＜三栄工業(株)＞
・人材マネジメント制度見直し（1回）	297,000 円	＜(株)エイデル研究所＞
・受水槽清掃・消毒作業	132,000 円	＜三栄工業(株)＞
・個浴槽修理	231,550 円	＜(株)メディプレスト＞
・法人ロゴマーク等デザイン料	242,000 円	＜アドゴードデザイン事務所＞
・アマノ リフト浴修理	231,550 円	＜(株)メディプレスト＞
・浄化槽清掃	178,200 円	＜(有)田辺台地衛生＞

〔笑 和 〕

〔備品〕

・ノートパソコン（一式）	222,970 円	＜陽和産業(株)＞
・タイムレコーダー	253,000 円	＜陽和産業(株)＞

〔わ ら わ 〕

〔備品〕

・車輛（ダイハツ）	450,000 円	＜(有)台地モータース＞
-----------	-----------	--------------

〔ソフトウェア〕

・相談支援ソフト クライアント使用権追加	255,200 円	＜陽和産業(株)＞
・相談支援ソフト更新	850,300 円	＜陽和産業(株)＞

〔 緑 林 荘 〕

〔備品〕

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| ・ 冷蔵庫 | 429,000 円 | ＜ホシザキ四国(株)＞ |
| ・ タイムレコーダー | 253,000 円 | ＜陽和産業(株)＞ |
| ・ 車輛（追加） | 350,000 円 | ＜(有)台地モータース＞ |

〔修繕他〕

- | | | |
|---------------|-----------|----------|
| ・ ボイラ保守点検委託契約 | 123,200 円 | ＜(株)巴商会＞ |
|---------------|-----------|----------|

〔 さ く ら 貝 〕

〔備品〕

- | | | |
|------------|-----------|---------------|
| ・ 車椅子用体重計 | 245,850 円 | ＜(有)オフィスウエハラ＞ |
| ・ タイムレコーダー | 253,000 円 | ＜陽和産業(株)＞ |

〔 宿 舎 運 営 〕

- | | | |
|------------------|-----------|-----------|
| ・ 漏水修理（302 号室） | 440,000 円 | ＜小松建設(株)＞ |
| ・ エアコン入替（302 号室） | 171,700 円 | ＜井上住電設備＞ |
| ・ エアコン入替（203 号室） | 142,700 円 | ＜井上住電設備＞ |

《 障害者支援施設オイコニア 》

生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、その人らしい自立した生活を送ってもらうために、良質かつ安心、安全なサービスの提供に努めた。また、ご利用者一人ひとりの能力や嗜好に合った生活空間が持てるよう配慮した。個別支援計画については、ご利用者の強みや障害特性、解決すべきニーズを把握し、本人の望む自立した生活が実現できるよう計画作成に努めた。

日中活動事業である生活介護サービスについては、各ライフサポート委員会で今年度の取り組み計画を作成し生活の充実にむけた活動を行った。日中活動支援プログラムでは、専任職員を配置したことにより、これまで参加があまり見られなかった活動量の少ないご利用者に合わせたレクレーションを提供し、より充実した日中活動の提供ができることとなった。

居住支援事業の施設入所支援については生活向上、日中業務改善、環境整備委員を中心に課題改善を図りながら、標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。また、インカム・眠りスキャン・タブレット等のＩＣＴ化をさらにすすめるとともに、データ収集等の機能の活用を増やし職員の情報共有や業務の効率化につなげている。

今年度も高知県障害福祉施設等デジタル化支援事業費補助金を活用し介護現場をはじめ、重いものを持ち上げるなどの作業時に腰の負担を低減するアシストスーツ「マッスルスーツ」を５台導入した。日中業務改善委員をはじめ使用場面について検討を行っている最中である。今後もさらに活用の幅を広げ職員の腰痛予防、身体の負担軽減等、労働環境の改善に努めていく。

入所の利用状況については、３月末で４９名であるが次期入所を４月に予定しており満床となる。待機利用者は現時点で１４名の申請はあるが、実際に入所調整に入ると「もう少し先で」という方や医的ケアが必要な方、精神疾患による多動等でオイコニアでは支援が難しく入所につながる方がいない状況である。満床を維持していくには各関係機関と連携をとりながら新規希望のご利用者を増やしていくことが必要である。

通所については、新規ご利用者が増えたこともあり２月には稼働率８３．３％と伸びてきているが、施設内コロナ感染症クラスター発生の影響を受け年間平均６１．６９％となった。短期入所についても同様の理由で年間平均６８．７２％と昨年度より稼働率を落とすこととなったが利用希望のご利用者は確保されており来年度に向け稼働率の安定は見込まれている。ただ通所、短期においても定員数には達していないため各関係機関と情報共有をし新規開拓を実施していく。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施していたが７月末にご利用者３１名、職員１２名の感染経路不明のクラスターを発生した。その後、１２月にご利用者２名の感染者が確認されるも、初期の感染者隔離対応を徹底できたことで広がりは見られず収束した。今後も感染症対策は感染状況に合わせて実施していくが、来年度より通常は面会や外出等の制限をひとまず終了、マスク着用も個人の判断にまかせることとし、コロナ禍前の日常生活に戻していきご利用者の生活の充実をはかる支援を実施していきたい。

1. 日常生活支援

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めるとともに安全・安心した生活が送れる活動を行った。また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。

1－①相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

1－②個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

1－③ライフサポート委員会

ご利用者のより安心・安全で快適な生活が送れるようライフサポート委員会が定期的な会議を開催し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。また、各委員会のリーダーが集まり情報交換を行うことで、委員会同士の連携を図った。

1－④懇親会

ご利用者がより安心し快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員からは、他のご利用者からの意見や要望が時々提案された。その内容へも丁寧な対応に努めた。

1－⑤苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症に対して第三者委員の方も考慮し訪問はなかった。ただし、ご利用者から訴えがあれば第三者委員へも報告できるように体制は維持している。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

令和6年3月31日現在（以下※）

	南国市	高知市	四万十市	宿毛市	仁淀川町	須崎市	津野町	佐川町	日高村	越知町	梼原町	中土佐町	四万十町	黒潮町	大月町	合計
男性	1	—	2	1	1	1	3	1	—	1	1	3	12	2	2	30
女性	—	2	1	—	—	—	—	1	1	—	1	—	11	1	—	19
計	1	2	3	1	1	1	3	2	1	1	2	3	23	3	2	49

2. 障害別一覧表

（※）

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	3	10
頸椎・脊髄損傷	6	—	6
痙性麻痺	—	2	2
脳疾患による後遺症	4	5	10
頭部外傷後遺症	3	—	3
水頭症	1	—	1
筋ジストロフィー症	1	—	1
パーキンソン型認知症	1	—	1
脳炎	—	2	2
骨化性筋炎	—	1	1
知的障害	3	2	5
ダウン症	1	1	2
精神障害	1	1	2
アルツハイマー型認知症	1	—	1
その他	1	2	2
合計	30	19	49

3. 障害・療育手帳別一覧表

（※）

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	18	12	30
第1種2級	2	2	4
第1種3級	1	—	1
第2種2級	1	—	1

第2種3級	1	—	1
療育A1	3	—	3
療育A2	1	2	3
精神2級	2	1	3
手帳なし	1	2	3
合 計	3 0	1 9	4 9

4. 年齢別一覧表

(※)

年齢	男性	女性	合計
18歳～29歳	1	1	2
30歳～39歳	3	2	5
40歳～49歳	4	1	5
50歳～59歳	7	4	11
60歳～69歳	5	5	10
70歳～79歳	9	4	13
80歳 以上	1	2	3
合計	3 0	1 9	4 9

5. 平均年齢

(※)

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男 性	20歳5ヶ月	83歳0ヶ月	58歳0ヶ月	59歳8か月
女 性	26歳2ヶ月	93歳9ヶ月	62歳5ヵ月	

6. 障害程度区分

(※)

区分	男性	女性	合計
3	—	—	0
4	4	2	6
5	7	2	9
6	19	15	34
合 計	3 0	1 9	4 9

平均障害程度区分 5.46

7. 食費等徴収額

(※)

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	7	11	44,590	1
2	22,520	1	12	45,320	2
3	36,380	1	14	45,500	1
4	38,480	1	15	53,260	1
5	39,090	1	16	47,590	1
6	39,300	1	17	47,750	1
7	39,790	3	18	47,820	2
8	41,920	1	19	47,880	1
9	42,010	1	20	48,480	1
10	42,590	1	21	48,510	5
22	48,640	1	26	53,230	1
23	50,000	1	27	53,500	9
24	51,340	1	合計		49
25	51,980	1			

8. 上限月額徴収額

(※)

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	49
合 計		49

9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 所	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
退 所	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
在籍者数	30	19	30	19	31	19	31	19	30	19	31	19	31	19

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入 所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2
退 所	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	2
在籍者数	31	19	31	19	31	19	31	18	31	18			

10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1, 390日	12日	68日	80日
5月	1, 447日	20日	52日	72日
6月	1, 421日	8日	46日	54日
7月	1, 506日	13日	31日	44日
8月	1, 482日	17日	47日	64日
9月	1, 451日	10日	15日	25日
10月	1, 525日	12日	13日	25日
11月	1, 457日	13日	30日	43日
12月	1, 534日	10日	5日	15日
1月	1, 534日	12日	4日	16日
2月	1, 430日	9日	3日	11日
3月	1, 509日	10日	0日	10日
合 計	17, 687日	146日	314日	459日

前年度延べ日数 17, 166日

11. 月別利用者区分数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分4	6	6	6	6	6	7	7	7	7	6	6	6
区分5	12	10	11	11	11	11	11	11	11	11	10	9
区分6	31	33	33	33	33	32	32	32	32	33	34	34

12. 金銭管理状況

(※)

	男性	女性	計
全 て 自 己 管 理	2	2	4
一 部 自 己 管 理	1	1	2
全 て 施 設 管 理	7	5	12
家 族 が 管 理	15	10	25
成 年 後 見 人	5	1	6
計	30	19	49

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4 月	5 3 日	6 人	1 1 月	6 4 日	6 人
5 月	5 1 日	6 人	1 2 月	4 6 日	6 人
6 月	5 8 日	6 人	1 月	5 2 日	7 人
7 月	5 4 日	6 人	2 月	7 0 日	7 人
8 月	3 7 日	6 人	3 月	6 2 日	7 人
9 月	5 7 日	6 人			
1 0 月	6 0 日	6 人	合 計	6 6 4 日	7 5 人

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町

前年度延べ日数 4 0 4 日

2. 障害程度区分

(障害者)

(※)

区分	男性	女性	合計
2	1	—	1
3	4	1	5
4	—	—	—
5	—	1	1
6	1	—	1
合 計	6	2	8

平均障害程度区分 3. 5 0

短期入所

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4 月	7 人	6 2 日	1 1 月	9 人	7 7 日
5 月	7 人	5 4 日	1 2 月	7 人	4 0 日
6 月	1 1 人	7 3 日	1 月	7 人	5 9 日
7 月	1 1 人	7 0 日	2 月	7 人	6 3 日
8 月	8 人	4 4 日	3 月	7 人	5 4 日
9 月	9 人	7 9 日			
1 0 月	1 1 人	7 8 日	合 計	8 8 人	7 5 3 日

※支給決定市町村：高知市・須崎市・佐川町・黒潮町・越知町
津野町・四万十町

前年度延べ日数 8 8 6 日

2. 障害支援区分

(障害者)

(※)

区分	男性	女性	合計
1	—	—	—
2	1	2	3
3	1	3	4
4	—	3	3
5	2	—	2
6	3	1	4
合 計	7	9	1 6

平均障害程度区分 4. 0 0

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
令和5年 5月18日 令和5年11月23日 令和6年 3月22日	レストラン	屋内	3回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらう。
令和5年 7月14日	夏祭り	屋内	1回	ご利用者・職員とともにまつりの雰囲気を楽しみながら親睦を深める。
令和5年12月22日	クリスマス・年忘れ会	屋内	1回	ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
令和6年 1月19日	新年会	屋内	1回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。
令和6年 4月 5日	お花見	屋内	1回	季節を感じてもらおうと共にご利用者・職員との親睦を深める。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供するとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。ただし、高知県の新型コロナウイルス感染症対策目安の警戒以上になった場合は中止していた。なお、外出時には、アルコール消毒やマスク着用をし、感染予防を徹底した。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、日曜日に自治会で注文を受け付け、職員が代わって買物を行った。また移動スーパー（とくし丸）も利用し買い物支援を行った。

(園内喫茶)

「お菓子の日」として、月2回オイコニアの職員対応でケーキと飲み物の販売を行った。

(整容)

毎月、外部の美容院と理髪店に依頼し、カットや髪染め・パーマなどの施術を園内で行った。

2. 行事について

実施日	行き先等	人数	実施日	行き先等	人数
4月	ドライブ（町内）	4人	10月	ショッピング（高知市） 外食（町内） 芋ほり 福祉フェア（高知市）	4人 11人 7人 2人
5月	ショッピング（高知市） 外食（町内） スポーツ大会（高知市）	2人 3人 3人	11月	ショッピング（須崎市） 外食（町内・町外）	2人 7人
6月	ショッピング（高知市） 外食（町外）	2人 6人	12月	ショッピング（高知市） ときめきクリスマス 餅つき	3人 5人 —
7月	ショッピング（四万十市） 外食（町内）	4人 8人	1月	初詣 ショッピング（高知市）	7人 4人
8月	外食（町内）	4人	2月	豆まき ショッピング（須崎市）	— 3人
9月	ショッピング（四万十市） 外食（町内・町外）	2人 7人	3月	小学生との交流	3人

<外出について>

(※)

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	3	3	6
自己決定で付き添って外出している	25	11	36
外出について意思表示が困難	3	4	7
計	30	19	49

※自己決定の困難な（意思表示の困難）ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

実施日	参加者	内 容
5月26日	入所者：37名 通所者：1名 短期：1名 職員：11名 計49名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行う。
6月28日	入所者：45名 通所者：1名 短期：1名 職員：13名 計58名	昼間に震度6強の地震が発生し、厨房より火災発生が発生したと想定し、通報・消火・避難の訓練を行う。 (四万十清流消防署の参加)
12月1日	入所者：41名 通所者：2名 短期：3名 職員：12名 計58名	昼間に震度6強の地震が発生したと想定し、避難・誘導の訓練を行う。
1月24日	入所者：43名 通所者：1名 短期：1名 職員：15名 計58名	昼間に厨房から火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の訓練を行う。
2月21日	入所者：49名 通所者：1名 短期：1名 職員：18名 計40名	夜間に震度6強の地震が発生したと想定し、避難・誘導の訓練を行う。
3月27日	入所者：36名 通所者：1名 短期：2名 職員：15名 計54名	夜間に震度6強の地震が発生し、厨房より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の訓練を行う。

食生活支援の状況

3 食カフェテリア方式での選択食の提供を実施した。新型コロナウイルス感染症対策による食事支援の制限や行事食の縮小等も県内の感染状況に合わせ緩和していくことができ年度内にはほぼコロナ禍前の食事の提供を行うことができた。また、行事食もバイキングや皿鉢での提供等も復活し大勢で食空間を楽しみながらご利用者に喜んでいただける食事支援を行った。

給食食材管理においては、ほぼすべての食材の断続的な高騰は収まることなく、年間通して細密な食材管理が求められた。献立作成においても食材高騰に対応するためご利用者のニーズに応えながらコストを抑えた献立の工夫が必要となった。

1. 食生活の状況

食事摂取基準に基づいた献立の作成を実施した。加齢や障害の重度化による個々の特性に合わせた食事形態の提供（ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）や医師指示のもと治療食も実施しており、多職種と連携した支援を行うことで重症化を防ぐよう努めた。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年1回）、残渣調査（計量）の結果、また日常的にご利用者とコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

委託業者に対しては引き続き、食品の取り扱いや職員の体調管理、感染予防について徹底するよう依頼している。

5. 行事食

・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 5月 端午の節句inオイコニア

11月 秋の美味しいものフェア～物産展の雰囲気味わう～

3月 土佐のご当地グルメ～春の陣～

・今年度の主な行事食

- 4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当
- 7月 夏まつり
- 12月 クリスマス年忘れ会（個人膳・皿鉢・焼肉・クリスマスケーキなど）
- 1月 おせち料理・新年会（個人膳・にぎり寿司など）

＊その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

日常生活活動に対するリハビリの状況

ご利用者一人ひとりの性格や疾患の特性、ご利用者とご家族の要望を把握したうえで、身体機能や精神機能、認知機能、日常生活状況などの評価を行い、評価に基づきニーズを導き出した。

5月より作業療法士が2人体制となったことでリハビリ内容が、より各個人にとって価値のある活動を展開し、各疾患の特性に応じた幅広い活動を提供することができた。車椅子や装具については、身体機能、生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。また、精神障害・発達障害を伴うご利用者の疾患特性に合わせた、アプローチや環境設定を実施した。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防・生活行為を向上するためのマネジメント

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者ひとりひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

2. 社会生活意欲の向上

集団生活を送る上で他ご利用者とトラブルとなることが多いご利用者に対して、トラブルを予防し集団という社会の中でその人らしく暮らしていくことを目的に、視覚的に指示が分かりやすいような環境設定をしたり、行動のルーティーンを置き換えるための方法を検討する等のアプローチを行った。

3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。集団作業療法では、難易度や活動内容を工夫しながら、幅広い年齢、疾患に対応できるような活動を実施した。

4. 車椅子・自助具等福祉用具の提案作成

車椅子に関しては、必要な場合には業者に相談し、本人の身体状況や生活状況に合わせたオーダーメイドのものを作成した。日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成、修繕を行った。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して本人や職員が管理し続けやすいものを提案した。

5. リハビリ実施状況

今年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者49名、通所者7名、短期入所者2名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～3回、自主トレーニング可能な方は週1～4回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計13～27名、平均9.74名である。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下や持病悪化が増える中、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、病状変化の早期発見と治療、また予防へと他職種と連携をしながら取り組みを行ったが、2名のご利用者が死亡された。今年度も病院受診は増加傾向にあり、定期的な受診を含め前年度より53回増えており多いご利用者で年間58回の受診支援を行った。入院状況は、前年度より322日減っているが、引き続き体調変化の早期発見に努め、施設で健康に過ごしてもらえよう支援を行う。

今年度も感染対策に努めていたが、7月末にはご利用者31名、職員12名の新型コロナウイルスのクラスターが発生した。12月にも感染者2名発生も拡大なく終息した。引き続き予防接種や、感染状況によって感染対策に努める。

1. 取り組み

実 施 月	内 容
4 月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
5 月	職員健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
6 月	職員・ご利用者希望者新型コロナワクチン（6回目）（嘱託医により実施）
6～9 月	食中毒の予防
10 月	ご利用者の健康診断の実施（検尿・採血）
11 月	職員健康診断の実施
11 月	職員季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
12 月	職員・ご利用者希望者新型コロナワクチン（7回目）（嘱託医により実施）
11～3 月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3 月	コロナウイルス感染症予防 歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回／月の指導 嘱託医師にて1回／週（火）に定期回診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	34人	68回	婦 人 科	3人	7回
内 科	15人	30回	脳 神 経 外 科	2人	6回
泌 尿 器 科	7人	35回	神 経 内 科	3人	11回
整 形 外 科	6人	14回	精 神 科	9人	62回
皮 膚 科	5人	8回	眼 科	3人	9回
リ ハ ビ リ 科	1人	9回	麻 酔 科	1人	25回
耳 鼻 科	1人	1回	胃 瘻 交 換	4人	6回
外 科	1人	1回	合 計	95人	292回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
泌 尿 器 科	2人	2人	18日
内 科	6人	10人	135日
眼 科	1人	1人	4日
脳 神 経 外 科	1人	2人	109日
精 神 科	1人	1人	48日
合 計	11人	15人	314日

4. 特別な医療行為者数

(※)

区 分		人 数
気 管 切 開 の 処 置		1 人
経 管 栄 養	経 鼻	2 人
	胃 ろ う	3 人
バ ル ン カ テ ー テ ル		9 人
合計（重複者あり）		1 5 人

事業所研修

研修内容	開催日	内 容
経営理念・経営方針 についての研修	5月17日	明成会の経営理念と経営方針の理解と浸透を図るために、 ディスカッションを行う。
BCP 訓練（災害・ 感染）	6月21日	事業継続計画（BCP）に基づき、実践的訓練を行う
介護技術研修	7月19日	排泄介助について、オムツマスターを中心に理解を深め る。
リフレッシュ	9月20日	レクレーション等を通じて職員間の交流を深めるととも に、職員個々の気分転換を図る。
虐待防止	10月18日	障害者の人権や虐待について理解を深め、虐待や身体拘束 の予防につなげるとともに、ご利用者個々の自立への取り 組みについて考える。
夜間緊急対応 感染症	11月15日	夜間の緊急対応の実践を行い、マニュアルの徹底と見直し を行う。緊急時の対応と連携の強化を図る。 ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症などの対応、 集団感染防止にむけた意識づけを図る。
福祉避難所運営訓練	1月17日	福祉避難所開設・運営マニュアルに基づく福祉避難所の設 置運営訓練を行う。
身体拘束	3月20日	障害者の人権や虐待について理解を深め、虐待や身体拘束 の予防につなげるとともに、ご利用者個々の自立への取り 組みについて考える。

《グループホーム笑和》（共同生活援助）

地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、相談支援事業所や就労支援事業所等の各関係機関と連携を図り、ご利用者の希望に沿ったサービス提供に努めるとともに、体調を大きく崩すことがないよう表情や行動等を常に観察し、個々の状態把握に努めた。また、ご利用者のニーズに応じた支援ができるよう6ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行い、支援方法にズレが生じないように心がけた。

上半期は精神的不調を訴えていたご利用者が3ヶ月間の入院（外泊あり）となったことや、秋ごろに町内で一人暮らしをしたいと相談をさせていたご利用者が6月末で退所となるといった動きがあり厳しい状況も予想されたが、早期に新規入所者を確保することができたことや、認定有効期間の終了に伴う障害支援区分の見直しにより区分3から区分4に変更となったご利用者がいたこと、新規受け入れをしたご利用者が区分2（退所者は非該当）であったため、入院及び退所により生じる空き期間の減収部分を補うことができた。また、ご利用者は季節の変わり目や不安なことがあるたびに不調を訴えたり不穏な行動が見られたりすると状態には変化はあったものの相談支援事業所や作業所等と連携をしながら対応を行った。

新型コロナウイルスについてはマスクの着用や手洗いの徹底を図ることで感染者を出すことはなかった。

1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

2 行事内容等

	行事名
4月	誕生日会
5月	ドライブ（幡多方面）、クッキング（ドライカレー・サラダ）、誕生日会、
6月	クッキング（豚の生姜焼き）
7月	ショッピング（サニーアクセス）、クッキング（チーズハンバーグ）
8月	クッキング（お好み焼き）
9月	クッキング（たこ焼き）
10月	ピクニック（越知方面）、クッキング（スパゲッティ）、誕生日会
11月	クッキング（ビーフシチュー・サラダ）、誕生日会
12月	クッキング（クリスマスケーキ）、クリスマス会
1月	初詣、クッキング（ちらし寿司・すまし汁）
2月	クッキング（オムライス・スープ・サラダ）、誕生日会
3月	クッキング（肉うどん）、誕生日会

3 防災訓練

実施日	
4月20日	夜間に漏電が原因でキッチンから出火したと想定し、避難誘導を行う
5月31日	昼間の地震を想定し、避難誘導を行う
6月22日	雨が降り続いたことで夜間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定をし、避難指定場所までの避難誘導を行う
7月28日	夜間に漏電が原因で居室からの出火を想定し、避難誘導を行う
8月22日	昼間の地震を想定し、避難誘導を行う
9月27日	激しい雨が降り続き昼間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定し、避難指定場所までの避難誘導を行う
10月26日	昼間に漏電が原因で居室からの出火を想定し、避難誘導を行う
11月29日	昼間の地震を想定し、避難誘導を行う
12月28日	雨が降り続いたことで夜間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定をし、避難指定場所までの避難誘導を行う
1月31日	夜間にタバコの不始末によりテラスからの出火を想定し、避難誘導を行う
2月22日	早朝より激しい雨が降り続いたことで裏山から濁った水が流れるなど土砂崩れの可能性があるとして想定をし、避難指定場所までの避難誘導を行う
3月29日	夜間の地震を想定し、避難誘導を行う

4 市町村別入所者数（令和6年3月31日現在）

	男性	女性	合計
四 万 十 町	3	4	6
中 土 佐 町	1	1	2
合 計	4	5	9

5 年齢別入所者数（令和6年3月31日現在）

	男性	女性	合計
20歳～29歳	-	3	3
30歳～39歳	-	-	-
40歳～49歳	-	-	-
50歳～59歳	2	-	2
60歳～64歳	-	1	1
65歳以上	2	1	3
合 計	4	5	9

	男性	女性
最 小 年 齢	5 3 歳 5 ヶ月	2 2 歳 5 ヶ月
最 高 年 齢	6 6 歳 1 ヶ月	6 5 歳 4 ヶ月
平 均	6 0 歳 8 ヶ月	4 1 歳 6 ヶ月
男 女 平 均	5 0 歳 0 ヶ月	

6 障害支援区分別利用実績集計表（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当	84	62	60	39	62	60	62	60	59	60	58	62	728
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	18	29	31	353
区分2	58	57	58	87	86	88	90	87	86	75	85	88	945
区分3	87	88	89	60	50	56	60	57	53	54	53	59	766
区分4	-	-	-	31	31	30	31	30	31	31	29	31	275
区分5～6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
延人数	259	238	237	248	260	264	274	264	260	238	254	271	3,067

7 入院状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
形 成 外 科	1	1	1 2
精 神 科	1	2	7 4
合 計	2	3	8 6

8 外泊状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	実人員	延人数	延べ日数
4月	3	6	6
5月	3	5	1 6
6月	2	3	3
7月	2	4	5
8月	4	6	1 9
9月	3	4	6
10月	2	4	5
11月	2	4	6
12月	5	1 0	1 9
1月	6	9	2 9
2月	3	4	7
3月	4	7	8
合 計	3 9	6 6	1 2 9

《相談支援事業所 わらわ》

今年度も各支給決定機関や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画相談支援や地域生活支援事業における相談支援などに取り組んだ。

令和6年3月末現在、計画相談で受けている方は109名（児童5名を含む）で、四万十町から委託されている地域生活支援事業は16名である。令和6年1月8日から1名の相談支援専門員が育休から復帰したため、2名体制での相談支援業務を再開し、ご利用者の困りごとや要望等に対してより細やかな対応を行うことができた。また、自立支援協議会やケース共有会、高幡相談支援連絡会へも参加し、課題の検討や情報の共有を行った。

災害時避難行動要支援対策として四万十町からの依頼により、災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成と更新を行った。

1 事業内容

① 指定特定相談支援事業（計画作成）

- ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
- ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助

② 指定一般相談支援（地域移行・定着）

- ・ 地域移行支援
- ・ 地域定着支援

③ 障害児相談支援事業

- ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
- ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助

④ 四万十町相談支援事業

- ・ 福祉サービスの利用の援助
- ・ 社会生活力を高めるための支援
- ・ 専門機関の紹介
- ・ 調整会議等への参加
- ・ 社会資源を活用するための支援
- ・ 権利擁護のために必要な援助
- ・ その他の生活相談に対する助言・指導

⑤ 災害時避難行動要支援対策

- ・ 災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成
- ・ 訪問等の機会を利用して、定期的な状況確認及び個別計画の更新
- ・ ご利用者が参加する避難訓練及び調査等への支援活動に参加
- ・ 避難情報等災害に関する情報の伝達等の支援
- ・ 避難時における必要な支援

2 相談受理件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
指定一般相談	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定特定相談	35	18	26	27	17	26	25	19	20	16	26	24	279
障害児相談	1	-	1	1	-	1	1	1	2	1	1	2	12
四万十町相談	3	4	8	5	6	5	5	9	6	4	6	4	65

3 計画相談サービス利用状況

福祉サービス等	件数
施設入所支援	5 9
生活介護	6 6
短期入所支援	9
療養介護	1
共同生活援助	8
居宅介護（家事援助）	2
生活支援（地域活動支援センターとの連携）	5
生活支援住宅	1
意思疎通支援事業	2
日常生活支援事業	5
就労支援（就業・生活支援センターとの連携）	3
就労定着支援	1
就労継続支援A型	1
就労継続支援B型	3 8
その他（受診時同行支援・訪問看護等）	9
保育所等訪問支援事業	2
児童発達支援事業	3
合 計 件 数	2 1 5

事業所研修【グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ】

研修内容	開催日	内 容
経営理念について	5月25日	明成会の理念等について理解と浸透を図る
リスクマネジメント	7月27日	リスクマネジメントについて知識を身に着け、事故を回避するための支援を養い事故防止につなげる
虐待防止	8月21日	虐待について理解をし、虐待防止につなげる
感染症	11月23日	ノロウイルス感染症への対応、集団感染防止にむけた意識づけを図る
プライバシー保護	1月25日	プライバシーの保護について理解を深め、ご利用者の権利擁護につなげる
コミュニケーションについて	3月21日	他者との関係性を円滑に保つためのコミュニケーション力向上にむけた手法等を学ぶ
B C P 訓練	3月21日	事業計画に基づき実践訓練（炊き出し）の実施

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

上半期は1か月ご利用者数700人を超える延人数を維持できていたが、11月に入り施設入所・長期入院等で利用延人数が一気に減少した。特に、12月から1月にかけては自宅生活での困難事案から急遽施設入所が決まった方や亡くなられた方が多かった為、一気に空き枠が増えることとなった。新規ご利用者の問い合わせやおためし利用されるご利用者の方も少なく、空き枠が30枠も超える月もあった。年間延人数も昨年に比べると556名減少し収益も減収となっている。介護度が要介護3以上になると、施設入所申請を行い施設入所にさほど時間が掛からないような傾向も見られてきている。要介護4・5のご利用者は66名中3名と減少している。

活動の中では、介護度が下がってきている傾向から転倒予防・下肢筋力維持に努めれるように楽しみながら取り組める音楽体操等を取り入れ実施した。はじめは男性ご利用者の方の参加が少なかったが、回数を重ねるごとに参加者も増えて歌を口ずさみながら参加されるようになってきた。

今後も、ご利用者の状態や要望を聞き取り居宅サービス計画に沿って、居宅介護支援事業所とも連携を図り、通所介護計画書を作成し個別対応の提供に努めます。

＜総合事業通所介護事業＞

支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めている。

運動器機能向上加算は取得していないが、百歳体操を中心に運動を行い、ゴムを使った体操や帰りの時間前には柔軟体操を行い下肢筋力の低下予防に努めた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行っている。

自宅での転倒にて、骨折・入院される方もいた。全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱい状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行 事 名
4月4日	お花見弁当
5月15日～20日	母の日プレゼント週間
6月19日～24日	父の日プレゼント週間
9月18日～23日	敬老週間
12月25日	クリスマス会
12月27日	餅つき
12月27日～28日	忘年会
1月4日	新年会
2月3日	節分（豆まき）
2月12日	避難訓練(昼間地震火災想定：自主訓練)
3月28日	避難訓練(昼間地震火災想定：消防立ち合い)

(2) 機能訓練とレクリエーション

今年度も、月間予定表を作成し、午前中のレクリエーションは、レク内容の偏りがないように参加ご利用の方が楽しめる提供を行った。壁画週間も継続して季節に沿った壁画をご利用者の意見をくみ取り実施した。運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。百歳体操やゴムを使った体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図る支援に努めている。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。縫い物（雑巾作り）、壁画作り、折り紙、カレンダー作成など幅広く活動が行っている。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めている。

3 年齢別登録者数集計表

令和6年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	—	—	—
6 5 歳 ～ 6 9 歳	—	0	0
7 0 歳 ～ 7 4 歳	0	2	2
7 5 歳 ～ 7 9 歳	2	1	3
8 0 歳 ～ 8 4 歳	3	3	6
8 5 歳 ～ 8 9 歳	3	7	10
9 0 歳 ～ 9 4 歳	3	22	25
9 5 歳 ～ 9 9 歳	3	16	19
1 0 0 歳 以 上	—	1	1
合 計	14	52	66

※ 最高齢は100歳の女性（要介護3）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和6年3月31日現在）	87.9歳	91.6歳	90.6歳
最 高 齢（令和6年3月31日現在）	99歳	100歳	

4 要介護別利用実績集計表（令和5年4月～令和6年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
1 日平均利用者数	28.8	28.6	29.4	27.4	27.7	28.7	29.7	24.9	24.4	24.2	23.4	22.5	26.6
事 業 対 象	28	34	33	34	32	34	30	31	29	31	23	34	373
要 支 援 1	35	33	42	33	31	32	27	28	23	16	14	14	328
要 支 援 2	82	94	84	95	85	93	92	87	72	58	61	57	960
要 介 護 1	197	225	213	239	255	240	251	230	215	198	187	204	2,654
要 介 護 2	223	220	224	159	182	191	201	154	187	181	191	182	2,295
要 介 護 3	54	66	65	57	60	58	71	72	71	64	73	65	776
要 介 護 4	39	22	21	37	42	41	44	12	3	0	0	8	269
要 介 護 5	61	77	82	59	60	57	57	34	33	33	38	20	611
延べ利用者数	719	771	764	713	747	746	773	648	633	581	587	584	8,266

（令和4年度 延べ利用者数 8,822名）

《居宅介護支援事業所 りょくりん》

昨年度末から今年度当初にかけ、担当者していたご利用者が相次いで入所され、前半は受け持ち人数の落ち込みが見られた。7月頃からは新規相談が増加し、前年並みに回復してきたが、冬場になると再び新規契約より支援終了の人数が上回った。契約後すぐに施設入所となった方や、終末期により支援期間が短かった方、長年担当していた方が亡くなったことなどが重なった。また、施設の入所決定も比較的早くなってきており、在宅での待機期間が短い傾向にある。

担当しているご利用者の中には、介護サービスにつながらないケースもあるが、各関係機関と情報共有しつつ、地道に地域へ出向き、安否確認などを含め生活状況の把握や、地域住民の方とのつながりを強めている。また、認知症の独居高齢者、老々介護、緩和ケアや終末期ケアなど、様々な事例に対して、ご本人やご家族の望む暮らしを汲み取った計画が作成できるよう努めた。

今年度は、ケアマネ1名が主任介護支援専門員の資格を取得し、さらに高い専門性を生かした計画作成や、町内のケアマネの資質向上に向けて取り組んできた。

1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 要介護度別担当利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	2	2	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	11
要支援2	8	9	9	9	11	12	13	13	14	12	12	12	134
要介護1	26	26	26	29	29	30	33	31	29	27	26	27	339
要介護2	18	17	18	17	16	14	14	15	15	16	15	19	194
要介護3	10	8	8	7	7	6	8	8	9	11	10	11	103
要介護4	3	4	6	7	7	8	7	8	6	5	5	5	71
要介護5	4	4	3	3	4	4	3	3	2	3	3	2	38
合計件数	72	71	74	76	76	75	79	79	76	75	72	77	902
新規利用	5	1	5	7	2	8	4	5	7	4	0	6	54

* 新規利用者は、要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む、初回加算の算定人数

事業所研修【デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん】

研修内容	開催日	内 容
事業計画について	4月17日	本年度事業計画の確認を行い、周知する。
認知症ケア研修	5月13日 (合同)	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
感染症研修	6月22日 (合同)	ノロウイルスやインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策や食中毒への対応、まん延防止策、について理解を深める。
ヒヤリ・ハット事故事例検討	7月12日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
各種の制度研修	8月14日	介護保険制度について理解する
福祉避難所開設訓練	9月20日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（机上訓練）
人権権利擁護虐待防止研修	10月16日	倫理及び法令遵守・高齢者虐待・プライバシー保護個人情報保護について理解をする
食事支援研修	11月22日	高齢者の食事の理解と個々の食事携帯の対応について周知する。
災害時研修	12月 3 日	風水害・土砂災害時対応訓練（机上訓練）
介護技術研修	1月24日 (合同)	腰痛予防に努め、介護技術の基本動作について、実践研修を行う。ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ。
ヒヤリ・ハット事故事例検討	2月12日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
マニュアル研修 (業務継続計画)	3月23日	マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。 BCP（感染症・自然災害）周知を行う。

《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

15名定員の受け入れを行ってきたが、8月以降施設入所等にて延人数が減少し、おためし利用や新規ご利用者の問い合わせもなく、9月より月・水曜日を10名定員に変更し運営を行いました。興津地区にはご高齢者の方も多く高齢化率も高くなってきているが、家族見守りの中在宅生活が可能な方が多く困り事になっていないご家庭や、家族は利用を希望されているがご本人が利用を希望されていないのでおためし利用にまで繋がらないケースが増えてきている。この1年で新規ご利用者は3名ととても厳しい状況となりました。昨年度と比較すると延人数は838名減少し、実人数も7名減少と厳しい現状となった。

隣接する保育所とは、距離をとっての交流を続けることができている。クッキングについても、感染対策を行った上で、月に1回以上、おやつや昼食をご利用者と一緒に作る機会を持った。

また、合同避難訓練も例年通り実施し、福祉避難所開設訓練も四万十町危機管理課と行い防災に対する危機意識も高まっている。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成し、サービスの提供を行った。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行 事 名
4月	お花見弁当(1回) クッキング(おやつ) 1回
5月	母の日週間、保育園こいのぼり運動会見学 保育園合同避難訓練
6月	父の日週間、クッキング(おやつ) 1回
7月	クッキング(おやつ) 1回
8月	クッキング(昼食) 1回
9月	クッキング(おやつ) 1回 敬老お楽しみ会 運営推進会議
10月	クッキング(おやつ) 1回 保育園秋の運動会
11月	保育園合同避難訓練、クッキング(おやつ) 1回
12月	クッキング(おやつ) 1回、忘年会2回、もちつき 保育園クリスマス交流
1月	クッキング(おやつ) 1回
2月	豆まき クッキング(おやつ) 1回
3月	クッキング(おやつ) 1回、運営推進会議、自主避難訓練

(その他)

- * 誕生日に写真つきカードをプレゼント

- * 母の日、父の日に記念品のプレゼント
- * 敬老の日に、記念品をプレゼント

(2) レクリエーション

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前はスポーツレクを中心に、午後には脳トレプリントや塗り絵、壁画制作、手先を使う作業など、個人個人に合わせて提供した。夕方には頭の体操を実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) 保育所との交流

保育園合同職員会（５月９日）

行事見学（５月２０日　１０月３日）

交流会（７月６日　９月１３日　１０月３０日　１２月２６日　３月６日）

合同避難訓練（５月２３日　１１月１４日）

餅つき（１２月２５日）

保育園卒園プレゼント贈呈（３月１５日）

(4) 地域との連携

学校安全体制整備推進委員会（６月８日）

興津地区自主防災組織総会（７月２０日）

興津防災訓練（８月２７日）

3 年齢別登録者数集計表

令和６年３月３１日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	—	—	—
6 5 歳 ～ 6 9 歳	—	—	—
7 0 歳 ～ 7 4 歳	—	—	—
7 5 歳 ～ 7 9 歳	—	1	1
8 0 歳 ～ 8 4 歳	—	4	4
8 5 歳 ～ 8 9 歳	2	4	6
9 0 歳 ～ 9 4 歳	—	6	6
9 5 歳 ～ 9 9 歳	—	1	1
1 0 0 歳 以 上	—	—	—
合 計	2	1 6	1 8

※ 最高齢は９７歳の女性（要介護２）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和6年3月31日現在）	87歳	86.9歳	86.9歳

4 要介護別利用実績集計表（令和5年4月～令和6年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
1日平均利用者数	9.3	7.9	9.1	9.3	8.2	7.7	7.4	7.1	7.1	7.6	7.4	7.8	7.99
事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7
要 支 援 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要 支 援 2	26	27	25	30	32	39	37	40	53	51	44	46	450
要介護度1	61	57	67	64	67	43	42	41	31	8	6	6	493
要介護度2	85	84	88	93	72	74	60	50	37	65	66	68	842
要介護度3	48	34	44	43	42	43	53	53	64	59	68	77	628
要介護度4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要介護度5	12	11	13	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-
延べ利用者数	232	213	237	242	222	199	192	184	185	183	184	204	2,477

（令和4年度 延べ利用者数 3,315名）

5 事業所研修

研修内容	開催日	内 容
事業計画について	4月18日	本年度事業計画の確認を行い、周知する。
認知症ケア研修	5月13日 (合同)	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
感染症研修	6月22日 (合同)	ノロウイルスやインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策や食中毒への対応、まん延防止策、について理解を深める。
ヒヤリハット・事故対応	7月18日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
介護予防について	8月23日	介護予防の重要性について学習する。
各種の制度研修	9月19日	介護保険制度について理解する
人権権利擁護 虐待防止研修	10月21日	倫理及び法令遵守・高齢者虐待・プライバシー保護 個人情報保護について理解をする
食事形態と個々の嗜好	11月28日	高齢者の食事の理解と個々の食事形態の対応について周知する。
福祉避難所開設訓練	12月 4 日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（役場立ち合い）
介護技術研修	1月24日 (合同)	腰痛予防に努め、介護技術の基本動作について、実践研修を行う。ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ。
ヒヤリハット・事故対応	2月24日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
マニュアル研修 (業務継続計画)	3月27日	マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。 BCP（感染症・自然災害）周知を行う。
事故予防研修	毎月実施	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。

[公益事業]

【配食サービス事業】

前年度同様に四万十町や各関係機関と連携・調整を図りながら町内の高齢者や障害者の方等に対し、昼夕2食の配食を行ってきた。

ここ最近では配食サービスに対するニーズの変化等により食数が伸びてきたが、8月以降は新規ご利用者の減少傾向にあり、『目標の1日平均120食』を下回り、今年度の1日の平均配食数は115.5食、新規利用契約者数は38名、平均利用者数は113名であった。要因として、在宅の要介護者の減少や配食事業者が増えたことが影響していると考えられる。

配食サービス事業の目的にもある「ご利用者の安否確認」については、新規契約時に事前には話し合い、個別に不在時の連絡体制を定め、配達時の安否確認を徹底して行ってきた。また、夏場には衛生面から弁当箱をこまめに回収することも心掛け、配食日誌による安否確認と弁当箱の回収確認を徹底してきた。特に5月以降は、空弁当箱の回収時にアリ等害虫が入った容器が多く見られるようになり、アリ対策として駆除剤の配布を行った。

配達員については、シルバー人材センターとの委託契約の見直しにともない4月以降は配達員1名減の4名となり、職員1名がローテーションに入りながら応急的に配達を行ってきたが、2月に1名採用でき、配達体制を整えることができた。

月別配食集計表

	実績数				実利用者数		
	委託	自費	小計	1日平均	委託	自費	小計
4月	3,627	118	3,745	124.8	114	7	121
5月	3,663	121	3,784	122.0	114	7	121
6月	3,531	144	3,675	122.5	112	6	118
7月	3,590	121	3,711	119.7	112	7	119
8月	3,451	119	3,570	115.1	106	7	113
9月	3,457	142	3,599	119.9	111	7	118
10月	3,383	137	3,520	113.5	105	8	113
11月	3,277	126	3,403	113.4	102	7	109
12月	3,298	120	3,418	110.2	101	8	109
1月	3,123	131	3,254	104.9	97	8	105
2月	2,965	108	3,073	105.9	98	7	105
3月	3,296	120	3,416	110.1	98	7	105
合計	40,661	1,507	42,168	—	1,270	86	1,356
平均	3,388	126	3,514	115.5	106	7	113
前年度平均	3,546	189	3,735	122.8	111	9	120

[収益事業]

【 宿 舎 運 営 事 業 】

昨年度から宿舍運営事業の売却について検討してきた結果、宿舍運営の当初の目的である職員確保のための住宅としての役目は終えたということから、9月1日付で町内の(有)西宮組に売却することが決まり、収益事業を廃止することとなった。

今年度半年間は、新規の紹介もなく8月末で売却先である家主のもとで引き続き入居できる状態で事業を終えた。

利用状況一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	合計
職 員	1	1	1	1	1	1 1
外 部	4	4	4	4	4	4 1
空 室	4	4	4	4	4	2 0

〔 地域における公益的な取組 〕

明成会地域サポート隊推進会議を毎年開催し、今年度の事業計画に基づき次の地域における公益的な取組みを実施してきた。また、年度末の3月15日には、活動報告を行うとともに次年度の活動計画について検討を行った。

1（地域に向けた活動）

○明成会地域サポート隊による活動の実施

・清掃活動

実施日	参加人数	内 容
7月23日	9名	六反地駅・施設周辺の草刈り
10月22日	9名	六反地駅・施設周辺の草刈り

※観光列車おもてなし”として菜の花活動（草刈り）

○宅老所連携した出前講座

月1回各宅老所へ出前講座を予定するが都合等が合わず訪問回数は少ない宅老所もあった。ゲームやボッチャ等が喜ばれた。コロナも5類に移行となったが、流行時には訪問の際、感染予防対策等について注意喚起を行った。

- ・替坂本宅老所 4回
- ・影野宅老所 5回
- ・六反地宅老所 9回

2（地域の他機関とのネットワーク活動）

・高知リハビリテーション専門職大学の実習の受入れと交流を通して、関係機関とのネットワークづくりを積極的に実施。また、10月21日の芋ほり体験（ご利用者7名）には、仁井田りん家主催のもと高知リハ学生等17名が参加した。

3（福祉避難所の活用）

○四万十町認知症カフェ運営事業受託

認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とした四万十町認知症カフェ事業の委託を受け、定期的な開設に向け、他施設の見学や備品等の購入など準備を行い6月から開設することができた。まずは周辺の地域の皆様へチラシの配布、関係団体へ説明を実施し参加を呼び掛け、順調な滑り出しとなった。

名称『しまんとオレンジカフェほほえむ』定員10名

開催日	参加人数	備考
6月23日	5名	
7月21日	3名	
8月18日	—	コロナ感染予防のため中止
9月15日	4名	
10月20日	6名	
11月17日	8名	
12月15日	8名	認知症に関する研修

1月19日	8名	
2月16日	6名	
3月15日	5名	
合計	53名	

○地域と連携した災害対策

1月17日 福祉避難所開設訓練（災害避難スペース オイコニア）

1月21日 仁井田地区自主防災組織と合同訓練（仁井田小学校）

4（既存事業の利用料の減額・免除）

- ・介護保険事業（デイサービスセンター緑林荘及びデイサービスセンターさくら貝）における社会福祉法人による利用者負担軽減を実施